

ジョイクラフトはココが違う!

# 使いやすさと美しさが高品質の証

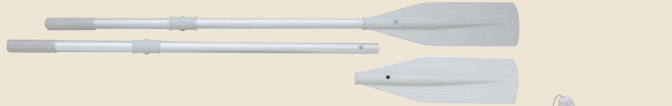
E Q U I P M E N T & S T R U C T U R E

物作りへの真摯な姿勢は、細部に現れます。たえず品質を追求し、独自の工夫を重ねてきたジョイクラフトのこだわりの数々をご覧ください。安全性、機能性、デザイン性を重視するコンセプトはボート本体のみならず、ひとつひとつのパーツにいたるまで貫かれています。その実力は、実際に使ってみると、ボートのトータルな使いやすさとしてはっきり体感できます。

## 統一された美しいデザイン

### アルミオール(アルマイト加工)

アルミニウムで手が黒く汚れないグリップキャップ付き。シャフトが長く(130~165cm)、ブレードが大きいので、速く進みます。オールロックと統一された美しいデザインが特徴です。



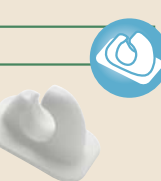
### オールロック

品位と質感を求めるジョイクラフトのこだわりです。オールとのマッチングは絶妙。美しい艇体には美しいパーツが似合います。



### オールストッパー(ローボートはベルクロ式)

オールをワンタッチで確実に固定するオールストッパーを装備。ひも式やゴムひも式に比べ、非常にスマートです。また、ローボートにはベルクロ式のオールストッパーを装備。水上でも楽にオールの着け外し作業ができます。



### リフティングハンドル

スポーツボートシリーズには大型のクリート兼用ハンドルを装備。ボートを引きずることなく、持ち上げて運ぶことができます。アンカーロープの止め具としても使用できます。  
※オレンジベコ、スモールランサムシリーズはベルト式です。



### フィッシングロッドホルダー(多目的台座)

座面が高く、サオ掛けがしっかり固定できます。汎用性が高く、各社の商品が装着可能です。中央がくびれており、クリートとして使用することもできます。(JET及び3.8m以上のボートは除く)  
※ジョイクラフトのボートはチューブが非常に固いので、サオ掛け取り付け時に特別な補助具を必要としません。



### リフティングハンドル(パウ・スターン)

パウ部分に2個のリフティングハンドルを装備。ランニングホイール使用時、両手で移動する際に非常に便利です。またスターン部分には外側にリフティングハンドル、内側にグリップを装備。内側のグリップはボートを運ぶ際、ランニングホイールをセットしやすいように計算されています。  
※オレンジベコ、スモールランサムシリーズはベルト式です。



### トイングリング(一部3点式)

ボートの曳航時に使用。プレミアムスポーツシリーズにはふらつき防止の3点トイングリングが装備されています。



### アンカーローラー/ロープリーダー

ローラーが確実に回転するアンカーローラーを装備。溝の高さ10mm、溝の幅40mmの本格的なロープリーダーと相まって、アンカーをスムーズに軽く引き上げることが可能です。また、ローラーは側面のカーラーと一体成型のため、細いロープでも隙間に食い込み心配はありません。  
※BBSシリーズは除く。



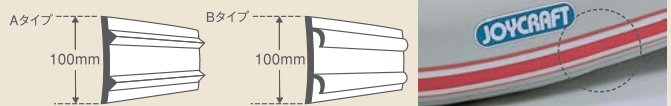
### ベルト式ライフライン(ベルト式つかみ索)

細いロープ式に比べ、デザインもスマート。定員以上の数のベルトが装備されているため、ガッチリと体をホールドすることができ、荒天時などハードなドライブをする時でも安全です。長時間握っていても、手が痛くなりません。また、ロープに比べ、釣り針が引っかかりにくくなっています。ジョイクラフトでは、2011年モデルからスポーツボートはもちろん、ローボートもすべてベルト式を採用しています。※RBシリーズは除く。



### 防舷材

すべてのスポーツボートに幅100mmのデザイン的にもアトラクティブな大型防舷材を装備しています。  
※スモールランサムシリーズは除く。



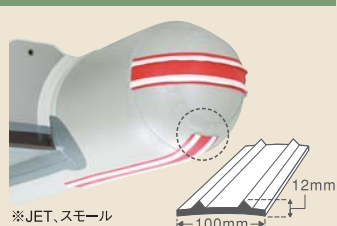
### ダイナキール

両サイドのスターン側ボトムに取り付けられる高さ6cmほどのスケグ。風によるボートの横流れを軽減し、走航時の保針性を高めてくれるアイテムです。V型フロアやセンターキールとの相乗効果で走りを安定させます。船底のキール効果は、キールが長いほど、また高いほど、より一層安定した効果を発揮します。単純に、数が多ければいいというものではありません。



### トリムタブ/チューブプロテクター

ボート下部プロテクターに高さ12mmのストライプを取り付け、ボートの直進性の向上を図っています。これはターンの際の横すべり防止にも大きな効果を発揮します。また、ボート前部を持ち上げたり動かしやすくなる時に、もっともダメージを受けるチューブ裏側の摩擦を防止する役割も果たします。(2001年に導入。現在では各社がコピーしています。)



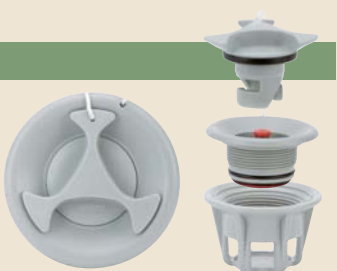
### ランニングホイール取り付け穴

スポーツボートシリーズのランサムには、ランニングホイール取り付け穴が標準で用意されています(JEF、JETを除く)。エンジンを付けて重くなった船体を運ぶ際は、オプションのランニングホイールを利用すると便利ですが、むずかしいのが取り付け位置の定め方。ジョイクラフトのボートは、あらかじめ最適な位置に取り付け穴が開けられているので安心です。



### 平面バルブ

チューブより出っ張らず、フラットです。身体を傷つけることがありません。また、空気注入時は、専用アダプターとの組み合わせによって空気弁が自動的に全開となり、注入抵抗がほとんどありません。プッシュ式です。手の平を傷つけることもありません。  
※一部、キャップのデザインが異なるモデルがございます。



### ライセンスプレート固定用アイレット

ライセンスプレートは、ひらひらして、わずらわしいもの。専用のアイレットで、プレートをしっかり固定します。  
※オレンジベコ、スモールランサムシリーズは除く。



## セルフペラー

ボートのなかに打ち込んできた水を排出するためのセルフペラーは、船種によりランサムボードの外側にドレンプラグが付いたタイプ(Aタイプ)と、船内側で操作するスライドタイプ(Bタイプ)を使用しています。走航中にドレンを開けると溜まった水が抜けます。逆流防止弁付きです。



## ジョイクラフトがインフレーターボートの世界を変えた!! 超高圧電動ポンプが標準装備

※プレミアムスポーツ、フリード、オレンジベコシリーズのみ。

### 超高圧電動ポンプ(BTP-12)

スポーツボートの性能を最大限引き出すため、ほとんどすべてのスポーツボートに標準装備。最大圧力800hPa~1,000hPa。圧力は高・低の切り替え式で、高圧エアフロアにも余裕で対応します。また、必要圧力を事前に設定すると、自動でストップします。一度お使いになると、手放せないほど便利な装備です。



25,000円(送料1,000円)

※仕様、装備は変更になることがあります。  
●DC12V ●重量2kg

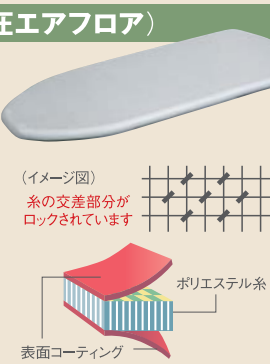
※ボートを使用の際は、万が一のトラブルに備えてかならずフットポンプもご用意ください。

## 優れた技術に裏打ちされた確かな構造

安全性と耐久性が求められるインフレーターボートゆえに、素材の選択から製造の工程まで厳しく管理しています。改良に改良を重ねた抜群の品質がここにあります。

### スーパーリジッドフレックス(高圧エアフロア)

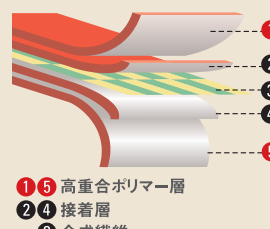
ジョイクラフトのほとんどのボートには空気を注入するだけで、板のように硬くなるエアフロアが採用されています。縦糸、上面、下面のクロスすべてに低伸度ポリエステルを用いたこのリジッドフレックスは、軽く、組み立てやすく、大きな浮力を持つ優れたのですが、プレミアムスポーツシリーズ(JEFを除く)には、さらにグレードの高いスーパーリジッドフレックスを導入。これはボート布の織り目の交差部分をロックしたタイプの高圧エアフロアで、基布が伸びにくい一層硬度に優れた逸品です。日本ではジョイクラフトのみが採用する注目の技術です(2011年12月現在)。



### ボート用クロスについて

#### ボートクロス基布

インフレーターボートのボート布は、引き裂きに強く、伸びず、硬いチューブを作れることが重要。走りの高性能につながります。ジョイクラフトは、すべてのスポーツボートと一部のローボートに、太く、強く、伸びにくい1,100デシテックスポリエステルを採用。さらに、1,100デシテックスポリエステルの両面に、ボート専用設計されたコンパウンドをコーティングしています。



#### すべてのボートが同品質

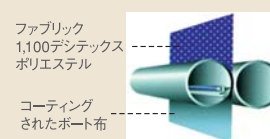
ジョイクラフトのコンパウンド「高重合ポリマー」は、耐候性に優れ、紫外線、オゾンに対し抜群の耐性を示す可塑性(プラスチック)を使用しています。最高級のスポーツボートからローボート、フローターまで、まったく同じコンパウンドを使用。最良の品質をすべてのボートに採用しています。

#### 表面、裏面に同一配合材をコーティング

夏の強い日差しでは、紫外線がチューブの裏側まで達することがあります。さらに、オゾンは暗いところでも空気中に存在し、見えないチューブ裏側が劣化することも。チューブ裏側の配合品質は重要です。ジョイクラフトのコーティングは、チューブ裏側の劣化にも対応する、自信の1回コーティング。コーティング材は、ピンホールの原因になる粉状物を配合しておらず、表面・裏面たった1回のコーティングでも、ピンホールができません。

#### 高圧スプレー方式

ジョイクラフトでは、ベース布のポリエステルとコーティング部に剥離がない「高圧スプレー方式」を採用。表と裏のコーティング材が布目を通じ接続(ブリッジ)し、はがれません。



## 流体力学に基づいた設計と艇体の剛性について

水上のボートに大きな影響をもたらすのは、激しく変化する水面(波・潮流など)と、空気(風など)です。水面や空気の乱れなどによって起こるキャビテーション、左右の揺れ、パウの沈み込みなど船体の急激な挙動変化は危険であり、長時間の操船では疲労してしまいます。流体力学に基づいて造られたジョイクラフトのボートは、安全にスムーズに速く走れ、精神的にも肉体的にも優しいボートです。

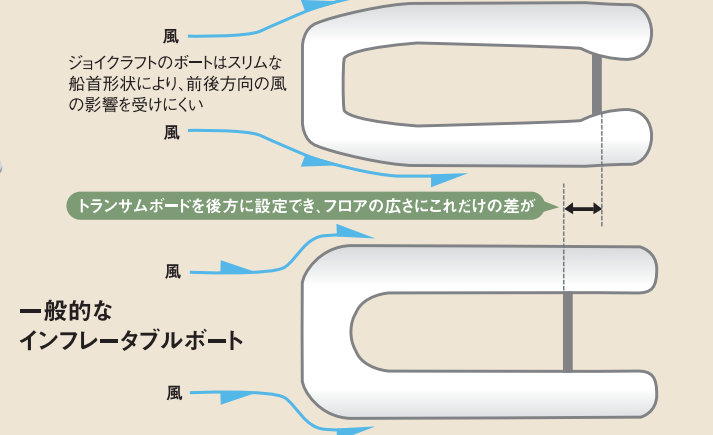
### 1 基本設計

◎インフレーターボートはその構造上、左右の安定性は抜群で、転覆することはまずありません。しかし前後方向は風の影響を受けやすいという特徴があります。ジョイクラフトのボートは前後方向の風圧抵抗を可能な限り小さく抑えるため、パウ(船首部)をテーバー(先細り)させる独特のフォルムとなっています。視覚的にもスマートで洗練された印象を与えるデザインです。

◎ボートの走りを左右するランサム、エンジン周辺の水流の変化および水圧の影響を抑制する設計を行っています。特にランサムの設計は、1つの方式にこだわらずに機種にもっともマッチした形状を開発。例えばオレンジベコなどは、チューブエンドの径を太くするユニークなデザインを採用。広いフロア面積を確保しながらスターンに十分な浮力を与える画期的な仕様となっています。

◎ジョイクラフトのボートは、パウをスリムにした独特のテーバーシェイプにより風による前後方向の抵抗を抑えます。また、モデルによってはチューブエンドの径を太くし、スターンの浮力を高めながらも同じクラスの他社ボートより広いフロア面積も確保しています。

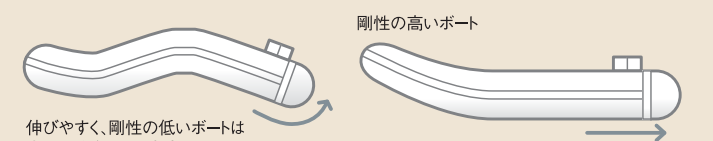
### ジョイクラフトのボート



### 一般的なインフレーターボート

### 2 ボートの剛性

◎インフレーターボートの走航性におけるもうひとつの重要ポイントが、船体の剛性。剛性の足りないボートは船体に変形し、水流が乱れるために走りが不安定になります。硬い船体を作るには、強く伸びにくいボートクロス、大きなチューブ、高い空気圧が必要です。ジョイクラフトの空気圧の目安は、200~250ヘクトパスカル(hPa)。高品質の大径チューブは、高い剛性を実現。スムーズな走りを楽しめます。



◎強く伸びにくいボートクロスは、船体の剛性に不可欠。ボートクロスの強さと伸びにくさは、一般には布の厚みではなく、使用される繊維の強さと密度に左右されます。ジョイクラフトが主として用いるのは、1,100デシテックス(デシテックスとは繊維10,000m当たりのグラム数)という太く強い繊維ですが、のみならずこの繊維を1平方インチ当たり26本×28本という高密度で用いているので、強く伸びにくいのです。同じ1,100デシテックスでも、他社では密度が低く伸びやすいボートクロスも見られます。

